



目 次

- [理学部でオープンユニバーシティと体験入学を実施](#)
- [P・D・Cのキャリアパス多様化を支援する「基礎科学S-cubic」がスタート](#)
- [理学部で消防訓練を実施](#)
- [学会賞等の受賞](#)
- [国際会議・シンポジウムの開催](#)
[第31回偏微分方程式札幌シンポジウムを開催](#)
- [外国の研究機関との共同研究](#)
- [外国人研究者受入状況](#)
- [海外からの来訪者\(短期滞在\)](#)
- [学位授与\(平成18年9月25日付け学位授与者\)](#)
- [人事異動\(正規職員・非正規職員\) H18.7.2～H18.10.1](#)
- [行事予定\(平成18年10月～平成19年2月\)](#)

理学部でオープンユニバーシティと体験入学を実施

オープンユニバーシティ

高校生や保護者、一般市民の皆さんに北大を知っていただくための「大学開放」が、7月30日（日）に全学一斉に行われました。

理学部においても、当日午前部の部と午後部の部の2回に分けて実施され、5号館低層棟2階の大講堂に道内外約140校から454人（道内379人、道外75人）が参加しました。

岡田学部長の歓迎挨拶に続いて、各学科長・学科委員等から学科・分野の教育内容等について紹介が行われ、高校生たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。

また、今年度は、北海道大学科学技術コミュニケーション・フォーラム（代表：杉山滋郎教授）の協力を得て、「先生・先輩に聞いてみよう」のコーナーを設けました。北海道大学科学技術コミュニケーション・フォーラムによる司会・進行のもと、理学部在籍学生の協力を得て、学生各自の研究紹介を行った後、参加者との質疑応答などを行いました。

体験入学

オープンユニバーシティ翌日の7月31日（月）に理学部体験入学が行われました。高校生に、自然科学への関心を引き起こすとともに、理学部で行われている教育・研究の実際を理解してもらうため、「体験入学」として始められたこの催しは、今年で15回目になります。

平成8年度から、文部省（現文部科学省）の委託研究事業として続けられてきた「高校生のための数学講座」をはじめ、5学科6学科目のすべてが平成18年度の体験入学に取り組み、理学部全体として計23コースが実施されました。

今年の体験入学には、道外からの32校を含め74校から合計192人もの高中生たちが参加しました。

各コースにおける体験入学が終了した後、大講堂に集合した参加者に、修了証書授与式が行われ、参加者代表として熊本県から参加してくれた生徒に岡田学部長から修了証書が授与されました。

体験入学に参加した生徒からは、多くの感想文が寄せられました。以下に、生徒たちから寄せられた感想文のうち、各コースに係る一部を紹介いたします。



【写真】 オープンユニバーシティで歓迎の挨拶を述べる岡田学部長（中央下）
「お宝紹介」の理学部生（左上）と真剣に聞き入る参加高校生たち

《感想文の抜粋》

①数学科 「高校生のための数学講座」

- ・ 数学がまるで関係ないようなところでも数学を応用させていることがわかった。数学は色々な分野に応用できるので、さらに数学への興味がわいた。
- ・ 数学の講義は難しい話ではあったが興味を持って聞くことができた。数学が日常の現象と深く関わっていることに驚いた。今回のような講座を受けられて、とてもよい時間を過ごせた。
- ・ 内容が高校数学を使っただけの説明なので、理解しやすく楽しかった。学校上、大学には行かなくてもいいが、もし行くとなった場合、大学とはどういうものか、ということに非常に役に立った。

②物理学科 「極低温の世界 —液体ヘリウムの超流動—」

- ・ 今日の体験では、少しですが、この学校ではどのような授業方針で授業を行うか、や、同じ大学に入学しようとしている人がどれくらいのレベルなのかが分かって、とても為になりました。それに、実験の設備の良さや、自分がどのような実験、どのような授業を、おもしろいと思ったりするのか分かり、自分のなりたい職業の参考になりました。

- ・ 普段、体験することのできない、貴重な経験ができてよかったです。午前中の授業は難しかったけど、知っていることが少しあったりして、知識も増やすことができて充実した時間を過ごすことができました。よりいっそう北大に入りたいという気持ちが強くなりました。

③物理学科 「高温超伝導」

- ・ 講義は2つともレベルの高い話をしていて、大学生がどの位難しい講義を受けているのかが、ありありと伝わってきたのが良かった。また、実習形式でやった超伝導では、マイスナー効果を用いたものの経験を通して超伝導を分かりやすく学習できて良かった。
- ・ 講義の内容はとても高度なものだと思いました。しかし、講師の人たちのわかりやすい説明のおかげで、なんとか理解できたような気がします。午後からは、超伝導の実験や、理学部内の施設の見学で、とても興味深い内容となりました。

④物理学科 「マイクロ波と生体の相互作用（携帯電話って大丈夫？）」

- ・ 講義の内容はとても分かりやすく、比較的身近な例で、最先端の研究を知ることができ、とても面白かった。また実習の方も、聞きたいこともその場で聞くことができた。実際に研究施設を使っただけの実験も興味深いものであり、物理の研究の側面を知ることができて、有意義な時間を過ごすことができた。このように楽しませて頂き、とてもうれしく思っています。ありがとうございました。

⑤化学科 「色と光で見る化学の世界」

- ・ 学部・学科内の様子がわかり、とても充実していたと思います。学校の化学の内容で、一番好きではなかった有機化学の分野が、興味深い実験とわかりやすい解説で、好きになりました。そして、化学に対する関心がより深まり、ますます大学への思いが深まりました。このコースの講師のみなさんが大変フレンドリーでうれしかったです。今日はありがとうございました。
- ・ 本格的な実験操作を体験させてもらうことができたし、色が変わるという変化ははっきりと目で見てわかるものなのでとてもおもしろかったです。先生や院生のかたもとても親切で、講義もわかりやすくおもしろいものでした。

⑥化学科 「遺伝子（DNA）を増やす」

- ・ 各テーマ少人数なので、話しやすかったし、質問しやすかったです。今回、初めて理学部に来たのですが、大講堂や研究室を見て、ここなら勉強ができるな、と感じました。実験自体は失敗に終わってしまったのは残念ですが、ぜひ、こんどは、大学に入ってから成功させたいです。
- ・ 実験の内容は少し難しいところもありましたが、だいたいの仕組みを理解できてよかったです。高校の生物の時間に勉強したこともあり、とても身近に感じることができました。また、高校では扱わない実験器具を使ったり、研究室の雰囲気を感じる事ができ、とてもいい経験になりました。

⑦化学科 「結晶の析出を観察する」

- ・ きちんと結晶を析出することができ、実際に初めて見たのでいい経験になりました。大学院生の方がていねいに教えてくださったおかげで、とても楽しめました。知らない物質などたくさんありました。

1日とても有意義な時間を過ごすことが出来ました！！ぜひ頑張って北大理学部に入りたいです。

- ・多くの実験ができ、とても楽しく、いろいろ学べました。参加して成功でした。もっと多くの実験を体験したかったです。結晶の析出までの道のり、反応結果がすばらしかったです、将来はこういう所に入りたいです！！TAの方が優しく教えてくれ、感謝しています、ありがとうございました！

⑧生物科学科（生物学分野） 「北大植物園淡水生動物相の解明」

- ・今まで淡水生動物をつかまえたことはあったけれど、つかまえて顕微鏡で観察して、それを図鑑で調べたのは、新しい発見があり、とても楽しかった。採集した生物をエタノールづけにして、これからも保存する方法を教えていただいたので、今年の夏に海に行った時は、エタノールとピンを必ず持っていき、新生物を発見しようと思った。今日の体験入学は、自分の進路を考える上で、とても役に立ち、とても感謝です。
- ・この体験入学を通して生き物を調べるためには、とても地道な作業が必要だとわかった。これから川や池などへ行ったときは、たくさんの生き物が小さな範囲にたくさんいるんだなということを考えながら見てみようと思った。

⑨生物科学科（生物学分野） 「神経細胞・グリア細胞に接してみよう」

- ・生物Iを学んだだけの状態でしたが、わかりやすい説明だったのでグリア細胞に親しみがもてました。特にHAPICellは染色して顕微鏡で観ると天の川みたいですごくきれいだと思いました。
- ・学校であまり生物の細胞を観察する機会がなかったので、昔に酢酸カーミンで核の染色を行って依頼の染色実験ができて、なかなか面白かった。

⑩生物科学科（生物学分野） 「動物の作り方となおし方（発生と再生を学ぶ）」

- ・高校でやる「生物」とは違い、専門的な事をたくさん見れて、有意義な一日でした。おたまじゃくしの脳の切除をしたり、電顕を使ったりする機会は、めったになく、来てよかったと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

⑪生物科学科（生物学分野） 「生命の多様性と連続性を保証する仕組み（生殖生物学）を学ぼう」

- ・今回は、カエルやメダカなど実際に使い、リアルタイムで卵割の様子を見ることができ楽しかったです。高校の教科書で見る図と同じもの、逆に見たことが無いものもあり、興味深く感じました。

カエルの受精では、私が受精させた卵が圧倒的に死んでしまったことが残念です。

- ・実際に卵割が進んで行く様子等が見られて楽しかったです。温度でかなり発生の進む速さが違うのがわかりました。大学の中でどんなことをしているのか普段あまり知る機会がないので、今回研究室の中を少し見せて頂いて参考になりました。

⑫生物科学科（生物学分野） 「目に見えない生物・細菌とその利用」

- ・テーマにはなかったDNAの話なども聞けて、いろいろと詳しく知ることができ、とてもためになった。他の大学で体験授業なども受けたことがあったが、先生が前で講義しているのを聞

いたりするだけのものが多く、今回はかなり少人数で実際実験をたくさんできたので楽しかった。

- ・制限酵素の働きは授業でならったけど、実際にやってみるのは初めてだったのでとても楽しかったし、授業の内容がもっと理解できた。細菌は前から見てみたいと思っていたけれど、実際に見てみるとその多さにとても驚いた。

⑬生物科学科（生物学分野） 「藻類の多様性を探る」

- ・透過型・走査型電子顕微鏡は前から扱って見たかったので、今回実際に自分で操作させてもらうことができ感動しました。藻類は火星移住計画でのO₂をつくる材料として使われる可能性があったりと、まだ研究の余地がたくさんあると思います。ぜひ、北大に入って生物学の研究に携わりたいと思いました。
- ・培養室は様々なものが置いてあってすごく興味がわいた。ペーパークロマトグラフィーの実験では自分のやった分の結果が上手く出るか心配だったが、良い指導のお陰か上手く出て安心した。一番最初に説明をきちんとしていただいたので次の実習にスムーズに入ることができた。

⑭生物科学科（生物学分野） 「植物の発生を考える」

- ・とても楽しかったです！！顕微鏡が好きなのでいい経験ができた。今までずっと見たかったDNAの配列も見れたし、胚の仕組みについてさらに知ることができた。普段できないことができ、ますます生物が好きになった。ありがとうございました！！

⑮生物科学科（高分子機能学分野） 「頭はどうやってできる？ -カエルの卵で調べよう-」

- ・カエルの発生はちょうど学校で習ったところだったので、卵が分裂していく動画が見られたりして、改めてわかることが多かったです。講義の中には、難しくてよくわからないことも色々あったけれど、研究室の雰囲気は少しでも感じられたのが一番良かったです。
- ・実際の大学の機械などを初めて見て、高校とは全然違うことに驚いて、こんな大学で勉強してみたいと思いました。大学は、自分で課題を見つけてそれを解決したら、さらに問題を見つけてまた課題を解決していくのがすごいと思ったし、そのようなことのできる大学生になりたいと思いました。

⑯生物科学科（高分子機能学分野） 「ゲルから筋肉を作ろう -インテリジェントゲルの最前線-」

- ・ゲルが電気を通すことによって曲がったり、吸水性ポリマーに水を入れてゲルを作ったりしてとても楽しかったです。形状記憶ゲルを曲げるのもおもしろいですし、一番強いゲルを半分にちぎったときはかなりうれしかったです。もし再来年、学力が及べば理学部に行きたいです。その時はよろしくお願いします！
- ・今回初めてこのような体験入学に参加させて頂いたんですけれども、ほとんど理学部について知らなかった私も理解でき、実際にゲルを作ることができて、とても充実した一日を過ごすことができました。

⑰生物科学科（高分子機能学分野） 「細胞内のタンパク質を光らせてみよう」

- ・先生も大学生の皆さんもとてもおもしろくて親切で、1日がはやく感じました。思ったよりも地味な作業続きで意外だったけれど、光ってる細胞を見たときは本当に感動して、うれしかったです。

- ・最初の説明の時点では、専門的な用語などまったくわからないし、タンパク質がどう光るのかも想像できなかったけれど、学生のみなさんが親切に教えてくれて、とても楽しかったです。実験は始めはうまく出来るか不安だったけれど、うまく光って、とても充実した体験入学になりました。

⑱生物科学科（高分子機能学分野） 「アトム磁力でタンパク質をしらべつくす！」

- ・一番目に希望していたコースとちがい、少し残念に思っていたけれど、参加してみると、分子モデルを作ったり、原子レベルでの実験の内容や実験器具の説明などにとっても興味がわいて、今まで思っていたことと現実の違いに気づけたし、生物に対する自分自身の考え方もわかって、自分にとってとても勉強になりました。
- ・本当の基本からタンパク質（ほぼアミノ酸について）教えていただき、だいたいよく理解できたと思います。また、分子の模型を組み立てたりしたので授業や本でぼんやりとしかどういものかわかっていなかったものが構造がはっきりとイメージ出来るようになったような気がします。

⑲生物科学科（高分子機能学分野） 「DNA鑑定をしてみよう」

- ・最初は緊張していましたが担当して下さった方が、優しくかつ丁寧に高分子機能学ではどのようなことをしているのかなど教室案内を含め、非常に多くのことを教えて下さいました。今まで見たことのない実験器具をたくさん見ることができて、とても感動しました。
- ・授業の内容はけっこう難しかったです。ですが、実験はとても楽しかった。今はまだよくしくみが理解できていないけれど、今後分かるように努力していきたい。

⑳地球科学科 「惑星を作る」

- ・とても有意義に過ごすことができました。理学部はかたいイメージがありましたが、先生は全く違いとてもおもしろい先生でした。でもただおもしろい訳ではなくて、深みを感じたりもしました。今日は来て良かったなあ、と思いました。これから勉強がんばって、ぜひ入りたいと思います。
- ・実際に北大へ来たのは初めてで、不安でいっぱいでしたが、教授がとてもユニークな人で、すぐ他の高校生の方たちと打ち解けることができました。あと、隕石の写真をみれたり、手にとったりすることができて、嬉しかったです。幸せいっぱいの日でした。

㉑地球科学科 「地球のすがた」

- ・重力をはかるなんて想像していなかったのでおどろき、楽しむことができました。大学では色々な機械を使って本当に細かいことまで実験できるということが分かり、「大学生になったらこういうことができる」という実感がわきました。
- ・地震と火山は中学の時に学んだのと同じようなことをしたが、新たに雷と電磁気の勉強をした。電磁気の勉強は難しく、複雑だったので、次に勉強するときには、十分に理解できるように努力したい。今回の体験入学はとても良い経験だった。

㉒地球科学科 「自然を探る」

- ・先生方がとてもやさしく、講義もわかりやすくおもしろかったです。顕微鏡で見た軽石などもすごく綺麗でした。初めて見たのでとても感動しました。また、気候変動についての講義は、

プリントもカラーでわかりやすかったです。最後に見た波は、もう驚きでした。装置を見たのも初めてでしたし、波は思わず見入ってしまうくらいでした。

- ・最後の波の実験が一番興味深かった。波によって水分子の動き方が違うなんて、おどろいた。

PD・DCのキャリアパス多様化を支援する「基礎科学S-cubic」がスタート

北海道大学は産業技術総合研究所（関西センター）と連携し、文部科学省の人材育成プロジェクト「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」を本年度より受注しました。このプロジェクトは、博士研究員（PD）および博士後期課程の学生（DC）の皆さんが基礎科学を修めた研究者としての能力を、アカデミアのみならず、広く社会〔企業〕においても思う存分発揮していただくことを支援するものです。

本事業の推進母体となる「基礎科学上級スキル人材ステーション（Superior Skill Station）：基礎科学S-cubic」は、大学院理学研究院に設置されており、

- 1) 企業と皆さんをつなぐ登録制Web「C-net」
- 2) 直接交流の場となる「赤い糸会」
- 3) 企業における博士の活躍を知る「Advanced COSA」
- 4) 自己PR方法のアドバイスや意識調査を行う「J-window」

の4つのプログラムを柱にして事業推進して行きます。

すでに、先月の8月3～4日には第1回「Advanced COSA」が実施され、企業における博士の活躍について熱心な討議がされました。また、10月10日には、博士号取得者の社会活躍を議論する記念講演会「博士」が理学部5号館大講義室にて行われます。更に、10月16～17日は第2回「Advanced COSA」が、10月23日には東京で「赤い糸会」が開催予定です。赤い糸会の参加には、旅費の補助があります。

この機会を是非利用して、視野の拡大と自らのサイエンスの更なる発展に挑戦して下さい。皆様のご利用をお待ちしております。



【写真】

COSAで企業研究の広さと深さを語る(株)日立製作所の中川技師長（左上）と熱心に聴講する大学院生等（PD,DC,MC等）の皆さん

右下（円内）は、講師との懇談風景

理学部で消防訓練を実施

平成18年10月16日（月）午前10時10分、理学部本館2階（リフレッシュルーム）からの出火を想定した消防訓練が行われました。

総合博物館に模擬客をも設定した、初期消火・通報連絡・避難誘導などの訓練には、PFI事業により仮移転中の農学部生を含む教職員・学生等約150名が参加しました。

訓練終了後、札幌市北消防署から指導的な講評を受け、引き続き、事務職員及び学生による消火器訓練が行なわれました。

【写真 訓練の講評を述べる札幌北消防署の担当係長（2号館正面玄関前）

1】 （右方へ自衛消防隊長の岡田研究院長と副隊長の脇坂事務部長）



【写真2】 真剣にCO2消火器を操作する学生たち
（8号館東側駐車場で実施された消火器訓練の様子）

学会賞等の受賞

北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門 塚本 尚義教授は、「二次イオン分析計を用いた微量元素および同位体異常の分析にもとづく地球および太陽系の起源の研究」により、平成18年7月23日、社団法人 日本鉱物学会から「日本鉱物学会賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究科 化学専攻博士後期課程2年 作田 絵里氏は、「アリールホウ素置換基を有する白金(II)錯体の合成と光化学特性」により、平成18年8月3日、配位化合物の光化学討論会において「第19回配位化合物の光化学討論会最優秀ポスター賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 喜多村 昇教授は、「単一微粒子計測法の開発と分析化学的展開」により、平成18年9月21日、社団法人日本分析化学会から「日本分析化学会賞」を受賞されました。

国際会議・シンポジウムの開催

第31回偏微分方程式札幌シンポジウムを開催

上記研究集会が8月2～4日の期間、理学研究院(理5号館大講義室)で開催されました。

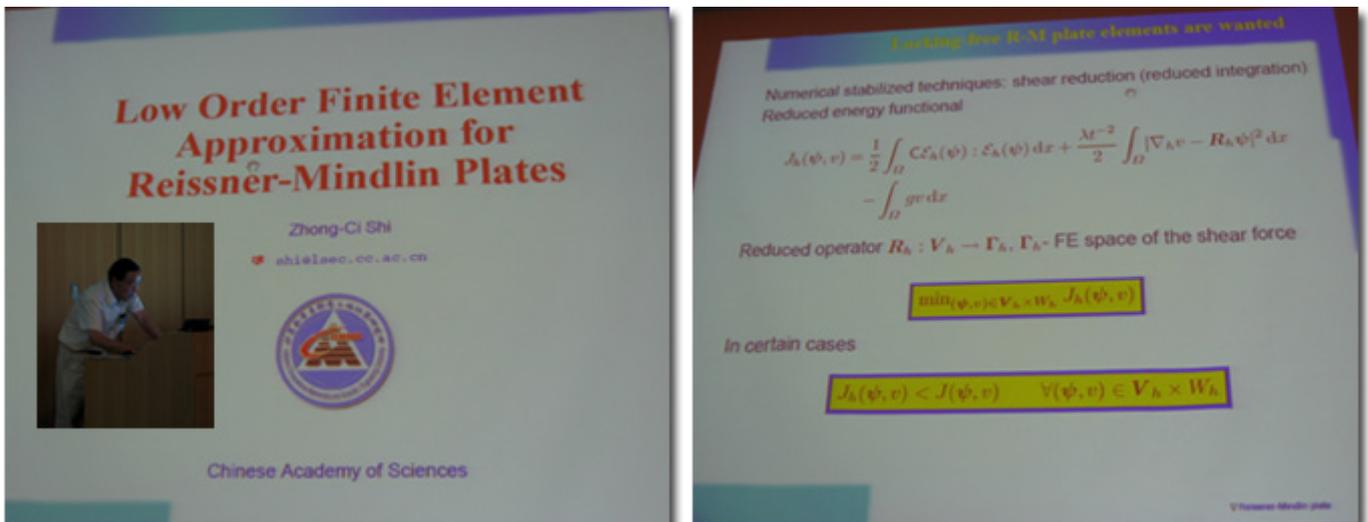
国内外の偏微分方程式などの研究者が集まり、12の研究発表と研究交流や議論が行われました。参加者は84名(海外から約10名)で、国内の数学の研究集会としては最大規模のものです。最近若手研究者が増加してきている点が特徴的です。

この研究集会は、今回31回目になりますが、偏微分方程式を中心に解析学のテーマが扱われます。近年は非線型偏微分方程式や応用系の研究発表が主になってきています。

例年夏に行われているため、本州からの参加者は涼しい北海道を期待してやってきます。彼らの多くは、今年の暑い札幌に少しがっかりだったに違いありません。一方、初めて参加した(多くの若い)人々には美しい環境のすばらしい北大キャンパスは好評でした。

(組織委員代表:小澤徹)

【写真】 最初の講演者の石教授(北京:左下枠内)と石氏の講演スライド(右)



外国の研究機関との共同研究

理学研究院 物理学部門 教授 熊谷健一

共同研究名

【日本学術振興会・2カ国間交流事業】

強相関電子系金属酸化物における相転移と量子臨界現象の研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

ロシア・Russian Academy of Science, Ural Division

・Senior Scientist, K. N. Mikhalev (2006.05.01 - 2008.04.30)

理学研究院 自然史科学部門 教授 塚本 尚義

共同研究名

【NASA研究費事業】

内部原始太陽系星雲の同位体進化を探るためのコランダム凝縮物の研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

米 国・ハワイ大学

・教授 A.N.Krot (2006.06.01 - 2007.05.31)

理学研究院 自然史科学部門 教授 塚本 尚義

共同研究名

【NASA研究費事業】

SNC隕石中の揮発性元素の研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

米 国・ウェスレヤン大学

・助教授 J.P.Greenwood (2006.06.01 - 2007.05.31)

理学研究院 自然史科学部門 助教授 角皆 潤

共同研究名

【日本学術振興会事業】

サハリン島および南プリモリーエ州周辺に湧出するメタンおよび軽炭化水素類の起源

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

ロシア・Pacific Oceanological Institute

・Head of Lab of Gas Geochemistry

・Obzhirov Anatoly Ivanovich (2006.08.01 - 2007.07.31)

外国人研究者受入状況

期間：平成18年8月1日～9月30日

(受入れ部門名：化学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (経費等・受入教員)
2005. 8. 1 -2006. 9.30	中国： 電子科学研究所ナノ材料研究分野 ・ 博士研究員 Jia Ruokun	三井化学株式会社との共同研究による「薄膜の自発的構造形成制御技術に関する技術開発」に関する研究業務（受託・共同研究費事業） (電子科学研究所ナノ材料研究分野・下村 政嗣)
2006. 5. 1 -2007.03.18 -2008.04.30 (H20.6.10修正) 【再掲】	スウェーデン： 日本学術振興会・外国人特別研究員 Reza Dabirian Tehrani	分子内の電子伝導に及ぼす分子内相互作用の効果に関する研究業務 (日本学術振興会事業・魚崎 浩平)
2006. 7. 1 -2007. 3.31	カナダ・オンタリオ州： 大学院理学研究院・学術研究員 Deyu,Qu	金表面への有機薄膜の構造制御成長に関する研究業務 (北海道大学・魚崎 浩平)

(受入れ部門名：自然史科学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (経費等・受入教員)
2006. 7. 4 -2006. 7.30	フランス・プロバンス州： CNRS (フランス国立科学研究センター) ・ 主任研究員 Luc Beaufort	白堊紀温室期の古環境研究に関して関連教員との共同研究に従事し、4大学COE合同シンポジウムで講演 (21世紀COEプログラム経費・岡田 尚武)
2006. 7.14 -2006. 8.18	韓国・ソウル： Seoul National University・ Professor (ソウル大学・教授) Kuh Kim	COE「新・自然史科学創成」の研究課題に関する共同研究およびシンポジウムでの講演 (21世紀COEプログラム経費・見延 庄士郎)
2006. 7.22 -2006. 9.16	ドイツ・イエナ： Friedrich-Schiller-University Jena	珪酸塩ペロブスカイトにおける元素の分配と置換のメカニズムに関する共同研究 (日本学術振興会事業・藤野 清志)

	Full Professor Falko LANGENHORST	
--	-------------------------------------	--

(受入れ部門名：生命理学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (経 費 等・受入教員)
2005.10. 6 -2006.10. 5	中国 浙江省杭州市： 21COE「バイオとナノを融合する新生命科学拠点」 ・COE博士研究員 杜 焱	ゲルの示す特異な物理的性質の研究 (21世紀COEプログラム経費・グン 剣萍)
2005.10. 6 -2006.10. 5	中国 浙江省杭州市： 21COE「バイオとナノを融合する新生命科学拠点」 ・COE博士研究員 王 萍	C6グリア細胞における遺伝子発現の定量シングルセルPCR解析に関する研究 (21世紀COEプログラム経費・浦野 明央)
2006. 2.24 -2007. 2.23	中国： 長江大学・教授 Chen, Daqing (陳大清)	研修 (国際協力銀行「対中国円借入金材育成事業」 ・山本興太郎)
2006. 6.23 -2006. 7. 7	イギリス・ロンドン： ロンドン自然史博物館古生物研究部門 ・主任研究員 Paul D. Taylor ・研 究 員 Piotr Kuklinski	北海道産苔虫動物の分類学の共同研究 (21世紀COEプログラム経費・馬渡 駿介)

海外からの来訪者(短期滞在)

期間：平成18年8月1日～10月31日

【受入れ部門名：数学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
2006. 7.14- 8. 2	イギリス：Cardiff University 講師 Mykola Leonenko	予測理論的新手法およびタウバー型定理の展開と記憶を持つ確率過程の確率解析への応用に関する研究打合せ (井上 昭彦)【再掲】
2006. 7.23- 8. 5	ドイツ：Eindhoven University of Technology ポスドク研究員 Matthias Roger	第31回偏微分方程式論札幌シンポジウムへの参加と講演、非平衡界面現象における表面張力とその相互作用に関する研究打合せ (利根川 吉廣)【再掲】
2006. 7.31- 8. 4	ロシア：Departamento de Matematicas, Universidad de Los Andes 助教授 Andrei Giniatoulline	第31回偏微分方程式論札幌シンポジウムへの参加と講演「Spectral properties of the operators generated by PDE systems of stratified and compressible fluids」 (小澤 徹)【再掲】
2006. 7.31- 8. 9	フランス：Analyse Nummerique et EDP Universite Paris-Sud Orsay 講師 Laurent DI MENZA	研究集会「第31回偏微分方程式論札幌シンポジウム」への参加と波動場の幾何と解析に関する研究打合せ (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 4	アメリカ：Department of ComputerScience Wake Forest University 教授 Bob Plemmons	研究集会「The Second East Asia SIAM Symposium」への参加と研究打合せ (坂上 貴之)【再掲・修正】
2006. 8. 1- 8. 6	カナダ：Dept.of Mathematics, The National University of Singapore 助教授 Ping Lin	研究集会「The Second East Asia SIAM Symposium」への参加と講演「A energy-law preserving C0 finite element method for singularity dynamics in liquid crystal flow」 (坂上 貴之)【再掲】
2006. 8. 1- 8. 6	ウクライナ：Dept.of Mathematics,Universiti Brunei Darussalam 助教授 Viktor Didenko	研究集会「The Second East Asia SIAM Symposium」への参加と研究打合せ (坂上 貴之)【再掲・修正】

2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Department of Mathematics Seoul National University 教授 Dongwoo Sheen	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Analysis of conforming and nonconforming finite element methods in wave propagation」 (坂上 貴之) 【再掲・修正】
2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Korean Advanced Institute of Science & Technology 韓国科学技術院 助教授 Chang-Ock Lee	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「A Neumann-Dirichlet Preconditioner for a FETI-DP Formulation with Mortar Methods」 (坂上 貴之) 【再掲・修正】
2006. 8. 1- 8. 8	中国 : Institute of Computational Mathematics Chinese Academy of Sciences (中国科学院) 研究員 Zhong-Ci Shi	研究集会「第31回偏微分方程式論札幌シンポジウム」への参加と講演「Low order quadrilateral finite elements for Reissner-Mindlin plate model」と研究打合せ (坂上 貴之) 【再掲】
2006. 8. 1- 8. 8	フィンランド : Dept.of Mathematics, University of Joensuu ポスドク研究員 Katya Krupchyk	研究集会「第31回偏微分方程式論札幌シンポジウム」への参加と講演「Elliptic overdetermined boundary problems」及び研究打合せ (小澤 徹) 【再掲・修正】
2006. 8. 1- 8. 8	香港 : Hong Kong Baptist University 教授 Tao Tang	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Resolving Spike Dynamics for Reaction-Diffusion Systems」 (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Chonnam National University 助手 Byeong-Chun Shin	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Least-squares mixed methods using $RT_0 \times P_1$ for elliptic boundary value problems」 (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Ajou University 亜州大学 助教授 Youngmoku Jeon	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Cell Boundary Element Methods」 (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Yonsei University 教授 Eun-Jae Park	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と研究打合せ (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	マカオ : University of Macau	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint

8	教授 Jin Xiao-Qing	Conference on Numerical Mathematics」への参加と研究打合せ (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Department of Applied Mathematics, Changwon National University 済州国立大学 教授 Seokchan Kim	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「The Finite Element Methods dealing with Domain Singularities」 (坂上 貴之)
2006. 8. 2- 8. 6	香港 : City University of Hong Kong 香港城市大学 助教授 Wei-Wei Sun	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Mathematical Modeling for Moisture Transport in Fibrous Materials and Applications」 (坂上 貴之)
2006. 8. 2- 8. 8	中国 : School of Mathematics and Statistics, Lanzhou Unibersity 教授 Yu-Jiang Wu	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Semi-Implicit Schemes with Multilevel Wavelet-like Incremental Unknowns for a Reaction-Diffusion Equation」 (坂上 貴之)
2006. 8. 2- 8. 8	中国 : Chinese Academy of Sciences 教授 Zhiming Chen	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「A Posteriori Error Analysis and Adaptive Methods for Partial Differential Equations」 (坂上 貴之)
2006. 8. 2- 8. 8	中国 : Xiamen University 教授 Linzhang Lu	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「A new look at restarted GMRES method」 (坂上 貴之)
2006. 8. 2- 8. 9	中国 : Zhengzhou University 教授 Dongyang Shi	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Convergence Analysis of Nonconforming Incomplete Biquadratic Plate Element on Anisotropic Meshes」 (坂上 貴之)
2006. 8. 2- 8. 9	中国 : College of Mathematics and System Science, Shandong University 教授 Hongxing Rui	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Split Least-squares Mixed Element Methods」 (坂上 貴之)

2006. 8. 2- 8. 9	中国 : College of Mathematics and Econometrics, Hanan University 教授 Dong-Hui Li	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演「Descent nonlinear conjugate gradient methods for optimization」 (坂上 貴之)
2006. 8. 6- 8.10	アメリカ : Virginia Tech 教授 Joseph Ball	研究集会「Multivariable Operator Theory & Complex Analysis」への参加と講演「Lax-Phillips Scattering, operator-model theory and conservative linear system theory: multivariable generalizations」と研究打合せ (中路 貴彦)
2006. 8. 6- 8.10	アメリカ : The University of Tennessee 教授 Stefan Richter	研究集会「Multivariable Operator Theory & Complex Analysis」への参加と講演「The index of invariant subspaces of Hilbert spaces of analytic functions of one and several variables」 (中路 貴彦)
2006. 8. 8- 8.10	カナダ : Queen's University 教授 由井 典子	セミナーでの講演「motives and mirror symmetry」とモジュライ空間の大域的幾何学に関する研究打合せ (中村 郁)
2006. 8. 8- 8.10	カナダ : University of Toronto 教授 George A. Elliott	研究打合せ (岸本 晶孝)
2006. 8. 8- 8.14	韓国 : Andong National University 教授 Ern Gun Kwon	研究集会「Multivariable Operator Theory & Complex Analysis」への参加と講演「On the mean Lipschitz functions in the unit disc」 (中路 貴彦)
2006. 8. 8- 8.14	韓国 : Pusan University 教授 Hong Rae Cho	研究集会「Multivariable Operator Theory & Complex Analysis」への参加と講演「Weighted Lipschitz estimates for the Bergman projection on the unit ball」 (中路 貴彦)
2006. 9. 3- 9.10	アメリカ : University of California, Los Angeles 教授 肥田 晴三	「整数論札幌夏の学校」への参加と講演「L-invariant and Galois deformation(I)」 (前田 芳孝)

【受入れ部門名 : 化学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
-------------	----------------------	--------------

2006. 8.22-8.23	中国：南京大学 教授 Ren-Gen Xiong	表敬訪問 (魚崎 浩平)
2006. 8.22-8.24	カナダ：レイクヘッド大学・準教授 &カナダ研究議長 Aicheng Chen	表敬訪問 (魚崎 浩平)
2006. 9. 6- 9. 7	オーストラリア：メルボルン大学 教授 Kenneth Ghiggino	表敬訪問 (魚崎 浩平)
2006.10. 3-10. 3	アメリカ：ミシガン大学 準教授 Zhen Chen	表敬訪問 (魚崎 浩平)

【受入れ部門名：自然史科学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2006. 6.23- 7. 7	イギリス：ロンドン自然史博物館 主任研究員 Paul D. Taylor	共同研究 (馬渡 駿介)
2006. 6.23- 7. 7	イギリス：ロンドン自然史博物館 研 究 員 Piotr Kuklinski	共同研究 (馬渡 駿介)

【受入れ部門名：生命理学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2006. 9. 7- 9. 7	フランス：PPMD, CNRS-UMR 7615 Dr. Tetsuharu Narita (成田哲治)	研究討論及びセミナー「高濃度コロイド分散系のエイジング ずり応力・乾燥の影響」 (長田 義仁)
2006. 9.19-9.19	中国：Chinese Academy of Science Prof. Jian XU	研究討論及びセミナー (長田 義仁)
2006.10.13-10.13	アメリカ：NCAUR/ARS/USDA Dr. Girma Biresaw	セミナー (長田 義仁)

学位授与

平成18年9月25日付け学位授与者（8名）

（課程博士）

落 田 温 子（化学専攻）

Development of Designer Phosphines with Compact Coordination Center
（コンパクトな配位中心を持つ官能性ホスフィンの開発）

（主査：教授 澤村 正也）

于 曉 強（化学専攻）

Development of Acyclic Stereocontrol with Double Inversion of Configuration
（二重立体反転を伴う鎖状立体制御法の開発）

（主査：教授 谷野 圭持）

権 赫 準（生物科学専攻）

Study on physical mechanism for actin architecture formation
（アクチン集合体形成の物理的メカニズムに関する研究）

（主査：教授 龔 劍萍）

友 杉 貴 茂（地球惑星科学専攻）

Cretaceous benthic foraminiferal assemblages from the continental margin of North Pacific
（北太平洋大陸縁辺における白亜紀底生有孔虫群集に関する研究）

（主査：助教授 西 弘嗣）

フェルナンド アラン ヒル サラザール（地球惑星科学専攻）

Calcareous nanofossil biostratigraphy and assemblage of the mid-Cretaceous (Barremian-Turonian) Budden Canyon Formation (northern California, USA) and Oceanic Anoxic Event (OAE) 1a in SE France and OAE2 in the Tethyan and North Pacific Regions

（中部白亜系（バレミアン～チューロニアン）ブッデンキャニオン層（北部カルフォルニア）、フランス南東部の海洋無酸素事変（OAE 1a）およびテチス地域と太平洋地域のOAE 2における石灰質ナノ化石の生層序および群集に関する研究）

（主査：教授 岡田 尚武）

（論文博士）

ペッテリ・ケットウネン (数学専攻)

Computational studies of emergent autowave phenomena in capillary tubes
(毛細管中の進行波の創発現象に関する計算科学的研究)

(主査：教授 西浦 廉政)

原 賢 二 (化学専攻)

Synthetic Studies toward Construction of Monolayer Catalysts on Solid Surfaces
(固体表面上での単分子層触媒の構築を指向した合成化学的研究)

(主査：教授 澤村 正也)

蓑 島 佳 代 (地球惑星科学専攻)

Changes of ocean circulations and biological production in the mixed water region in the
northwestern Pacific during the last 27 kyr

(過去2万7千年間における北西太平洋混合水塊の海洋循環と生物生産の変動)

(主査：教授 岡田 尚武)

人事異動

<正規職員>

平成18年10月1日付け発令

(転出)

庶務係主任

総務部総務課法規係主任へ

里 眞理子

外部資金係

財務部調達課調達第四係へ

久 保 大 輔

(転入)

庶務係

北海道大学病院医事課医事係から

武 藤 幹 夫

外部資金係

財務部主計課財務企画係から

谷 口 雄 郎

<非正規職員>

(採用, 配置換, 転入)

H18. 7.20	自然史科学部門	学術研究員	山 田 学
H18. 8.21	化学部門	事務補助員	福 田 夕 三
H18. 9. 1	自然史科学部門	学術研究員	小 林 憲 生
H18. 9.11	生命理学部門	事務補助員	新木智香子

(任期満了退職, 辞職)

H18. 7.14	化学部門	学術研究員	増 田 卓 也
H18. 8.10	地震火山研究観測センター	非常勤研究員	神 山 裕 幸
H18. 8.17	生命理学部門(S-cubic)	事務補助員	松 浦 寛 乃

行事予定

〈平成18年10～平成19年2月〉

月	日	曜	事 項
10	2	月	全学教育科目, 大学院・学部専門科目授業開始
	11	水	第2学期履修届受付【～12日(木)】
	11	水	AO入試出願受付期間【～18日(水) 17:15必着】
	12	木	全学教育科目追加認定試験成績締切
	26	木	研究院代議員会議
11	10	金	12月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	17	金	学位申請(11月付託) 締切
	19	日	AO入試第2次選考日【17日(金) 午後一部休講】
	30	木	理学部学科長会議
	30	木	学院・研究院代議員会議
12	5	火	AO入試合格発表(9:00頃)
	8	金	AO入試合格者入学手続き期間【～14日(木) 17:15必着】
	14	木	大学院第2次募集出願資格予備審査申請期間【～21日(木)】
	21	木	研究院代議員会議
	25	月	学位記授与式
	25	月	全学教育部, 理学部・理学院冬季休業【～1月4日(木)】
	26	火	学位申請(1月付託) 締切
1	5	金	全学教育科目, 大学院・学部専門科目授業再開
	11	木	学院入学試験委員会, 研究院・学院代議員会議
	11	木	大学院第2次募集出願資格予備審査結果通知(15:00頃)
	11	木	平成19年度第1学期授業時間割(案)提出締切
	11	木	平成19年度大学院授業科目シラバス原稿提出締切
	12	金	大学院第2次募集願書受付【～18日(木)】
	20	土	大学入試センター試験【～21日(日)】【19日(金) 終日休講】
	23	火	全学教育科目補講日【～14日(水) 及び30日(火)～31日(水)】
	31	水	全学教育科目第2学期授業終了
	31	水	転学・転部・転科・編入学・再入学申し出締切
2	1	木	全学教育科目定期試験【～14日(水)】
	6	火	大学院理学院修士(博士前期)課程及び博士後期課程第二次入学試験【～7日(水)】 【5日(月) 午後一部休講】
	8	木	研究院代議員会議
	9	金	3月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	9	金	修士論文題目提出締切
	13	火	卒業修了予定者の成績提出(入力) 締切(正午)
	13	火	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間【～22日(木)】
	15	木	全学教育科目第2学期追試験【～19日(月)】
	16	金	学位申請(3月付託) 締切
	16	金	研究生・聴講生・科目等履修生願書受付【～22日(木)】
	19	月	全学教育科目定期試験成績入力締切(正午)
	20	火	全学教育科目追試験成績入力締切(正午)
	23	金	理学部・理学院春季休業【～4月2日(月)】
	25	日	本学第二次入学試験(前期日程)【23日(金) 試験場設営】